



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-53-4849
E-mail
mirai@honda-yoko.com




牽  **せ**  **の** **手**

幸手市議会議員となり、5ヶ月が経ち、2度目の議会が終わりました。
「議員は、正確な情報を市民の皆さんに伝えるのが役目」と痛感しています。
だからこそ、今回の発行となりました。

【緊急特集】幸手駅西口土地区画整理事業

平成23年第3回幸手市議会定例会の市政に対する一般質問において、私、本田ようこが質疑した内容と回答の一部です。

《幸手駅西口は、改札口のある西口ではありません！》

★「幸手駅西口」の解釈について伺う。

回答: 近隣の駅と同様に橋上駅舎を計画。その為、橋上駅舎への通路(自由通路)の西側の出入口を幸手駅西口と捉える。地元説明会、個別懇談会、議会に対して、橋上駅舎を前提に説明。共通の認識を持っていると理解している。

《橋上駅舎の費用は、幸手市負担です！》

★駅舎については東武鉄道の所有物、幸手市として出来ることがあるのか伺う。
また、橋上駅舎について、この4年間で東武鉄道と協議を重ねた回数を伺う。

回答: 駅舎の改築は「請願駅」としての整備となる。

請願駅とは、地元の自治体等の要望により、駅舎の改築・新築を行うもので、費用は請願者側の負担です。(注: 請願者は幸手市 よって幸手市の負担)

請願駅として橋上駅舎を整備した場合の管理ですが、自由通路については、国庫補助金を導入して整備を行い、市の施設として維持管理をする。橋上駅舎については、東武鉄道に帰属するものとなり、維持管理は東武鉄道が行うことになる。

橋上駅舎の設計は東武鉄道と協議を行い実施。その設計を基に自由通路整備と橋上駅舎整備の二段階に分けて整備を行うこととする。しかし、橋上駅舎整備の事業費や市の負担額を精査し、実施時期の財政状況等を検討、橋上駅舎と自由通路の一括整備を視野に入れていると議会でも説明。駅舎のデザイン(色やかたち等)や構内のバリアフリー対策などについて協議してしていくことになる。この4年間で東武鉄道と何回協議したかについては、年3~4回協議している。

《世代間負担の公平？ 次の世代に借金を残すことが？》

★地方債(借金)の返還が平成72年までの50年間かかることについて、執行部や市長としての責任について伺う。

市長回答: 地方債については、区画整理関係、道路関係、下水道関係の3種類の地方債の借入れを見込んでいる。区画整理関係の償還期間は20年、道路関係の償還期間は15年、

下水道関係の償還期間は30年で計画。地方債は工事を実施した年度に実施した工事分に対して借入れを行う。土地区画整理事業で借入れた地方債(借金)の返還が全て平成72年度まで50年かかるものではない。短いものでは事業終了前に返還が終わることもある。

本来の目的は、施設設備が将来に渡って効果を生ずるものであれば、あえて地方債を借りて、将来の住民にも負担をしていただく、世代間負担の公平という理念に基づいているもの。長期化になる土地区画整理事業については、5年ごとに計画を見直すことになる。毎年度議員の皆様には決算や予算の審議をいただき、透明性の在る事業を執行して責任を持って行きたい。

《東武鉄道の回答に「電話一本を信用するのか？市長を信用するのか？」》

再質問: 8月24日、私は東武鉄道資産管理部に電話をしました。質問は、「幸手駅舎に対する東武鉄道としての考え方」でした。

回答は、「幸手市とは駅舎について協議していない。担当部も決まっていない。駅舎の改修は終わっている。今後の予定はない。橋上駅舎については当社と協議されていない。」

何が本当なのでしょう？正確な情報を市民の皆さんにお伝えするのが議員の役目です。本当に、幸手駅西口土地区画整理事業が必要なのか、全市民に問いかけてください。市民の皆さんの大切な税金、子どもや孫まで負担をかけてまで必要なことでしょうか？優先順位を間違えていないでしょうか？

市長答弁: 意外にも土地区画整理事業を見直すかのごときご質問です。議会にご理解を得て方向性が出て、全力で今後向かっていこうという矢先です。埼玉県のご協力を得て、県と協議を重ね、平成22年3月23日区画整理事業で施工されることになりました。改めてご認識ください。

そしてもう一点、橋上駅の話が全くされていないとは意外な話。私も東武鉄道と4、5年前に協議をしました。18年の財政状況があったが為に、橋上駅についての核心に入った協議はされていないことは事実であります。一切これまでも協議がされていないということではないとをご認識いただき、東武鉄道の関係部署の電話一本でそちらを信用するか、私の言っていることを信用するか、これから冷静にご認識いただき、市民に向け発信していただければ有難いと、よろしく申し上げます。

要望: 市民の中では、西口区画整理事業と橋上駅舎が一緒になっている。橋上駅舎については別なのはわかりますが、その橋上駅舎の費用も明らかにしていただきたい。

また、自由通路にかかわって橋上駅舎を造るのであれば、その時点で確実に東武鉄道と話がついている筈ですが、担当課(幸手市の)にお聞きしたら、「これから協議します」と仰っていました。この点を明らかにしていただきたい。以上です。

本田ようこはこう考えます！

☆昭和63年からスタートし、時代は変わりました。

これほどの時間(50年)、これほどの費用(125億+橋上駅舎代)、本当にこの事業は必要なののでしょうか？

東日本大震災以降、国や県の補助金の流れも変わりました。

幸手市独自では出来ない大きな事業だからこそ、先を読むのは大変です。

幸手市民は何を望んでいるのでしょうか。

どんどん先送りにされた西口開発、

先ずは何が必要なののでしょうか？

そして、その事業による「しわよせ」…、

一方ではその犠牲となった方々の悲鳴が聞こえます。

橋上駅舎の件でさえ、市と東武鉄道の見解が違うこの状況です。

見栄を張った事業でなく、身の丈に合った確実な事業であるべきです。

確実な西口開発、子どもにつけを回さない、

敢えて見直す勇気が明日の幸手市を救うと考えます！

